

一般社団法人 全国生活サポート協会
2025年度事業報告
(2025年4月1日～2026年3月31日)

【概 括】

I 組織

当会は、助け合うという互助の精神を柱に、知的障がい児者・発達障がい児者の方々を、かけがえのない存在として捉え、より豊かな生活が送れるよう支援していくことを理念・目的としており、特筆すべき事業として「生活サポート総合補償制度」を全会員が利用できる。

2025年度は、「生活サポート総合補償制度」の改定（値上げ）の影響が心配されたが、結果的には会員目標の170,000人を大幅に更新し、172,774名となり、2024年度末会員数より14,900名の増員（対前年比約9%）となった。また、年間会員目標の達成は2019年度以来6年ぶりであった。

会員数の増加は、広島県の加盟や他の補償制度からEプランへの移行の影響が大きいが、各生活サポート協会の事務局、AIGやジェイアイシーの皆様による、ひとかたならぬご尽力の賜物でもある。

一方で現在「生活サポート総合補償制度」を利用できない県は島根県のみとなっており、今後も空白県を解消する取組みを近隣のサポート協会及びAIG、ジェイアイシーグループと連携を図りながら進めていく。

グラフ1 会員数の推移

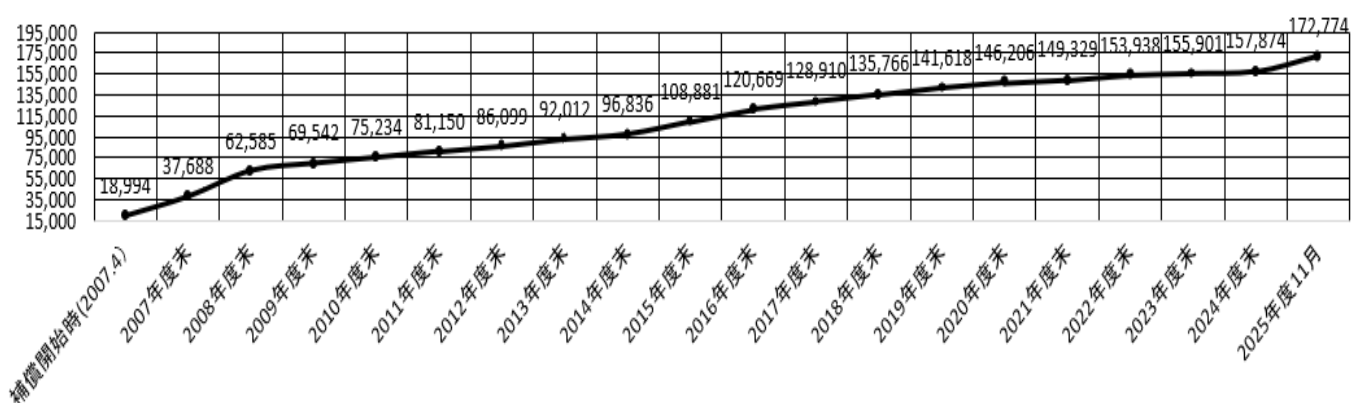


表1 ブロック別会員数の推移

ブロック名	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
北海道ブロック		369	1,296	1,567	1,714	1,876	2,513	3,118	3,815	4,276	4,792	5,164	5,587	5,884	6,258	6,498	6,637	6,714	6,816	11,126
東北ブロック	2,821	3,938	5,419	6,609	8,252	8,947	9,563	10,131	10,568	11,174	12,062	12,591	13,444	14,151	14,991	15,571	15,951	16,180	16,342	16,661
関東甲越ブロック	16,173	20,402	32,440	33,568	34,868	36,103	37,284	38,353	39,633	41,162	43,619	45,179	46,775	48,027	49,944	49,858	50,353	50,805	51,308	55,053
中部ブロック		8,277	9,414	10,443	11,003	11,379	12,048	13,041	13,850	16,523	17,555	19,083	20,172	21,298	22,356	22,922	23,381	23,770	24,371	26,934
近畿ブロック			5,809	7,152	8,151	10,730	11,449	12,580	13,383	16,733	21,553	22,531	23,583	24,409	24,940	25,340	25,449	25,959	26,209	27,609
中国・四国ブロック			108	159	275	349	415	487	557	2,566	3,412	5,675	6,806	7,168	7,467	7,568	10,374	10,496	10,601	12,867
九州ブロック	4,702	8,099	10,044	10,971	11,766	12,827	14,302	15,030	16,447	17,670	18,627	19,399	20,681	21,250	21,572	21,793	21,997	22,227	22,504	

Ⅱ 事業

1 サポート協会における事業の実施

2024年度の事業実施状況をブロック会議で報告。堅調に実施数は増えている。
2025年度の実施詳細は、各サポート協会からの総会資料収集後になるため
2026年度のブロック会議時に報告を行う。

2 協会名変更

発達障がい者が加入要件に入ったため2024年度から協会名変更について1年をかけて協議を行っており、2025年度の総会にて協会名変更が承認された。事前に準備を行っていたことで特に混乱を生じることなく、その後の法人登記、銀行口座や種々の契約名義の変更、関係者への連絡等を滞りなく行うことができた。

3 ブロック会議

- (1) 2025年度は、新「会員管理システム」構築案を主な協議内容として、全7ブロックで開催した。
- (2) 2024年度のブロック会議で2025年度～2026年度の理事が推薦されていたが、関東甲越ブロック推薦理事であった片桐理事逝去により該当ブロックは1名欠員となっていた。関東甲越ブロック会議にて協議が行われ、群馬県の中島理事長が推薦された。
- (3) 2025年度は7年ぶりに運営実態調査を行っており、三者会議報告とともに運営実態調査報告を行った。
- (4) 東北、関越、中部、近畿ブロックではオールブリュット入賞者表彰式を行った。なお、2025年度は3位入賞が同票となったため、入賞作品が4点となった。(山形県、やまゆり-神奈川県-、福井県、大阪)

4 啓発事業

(1) 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行

2025年度は、7月1日付けで発行した。47サポート協会及びジェイアイシーグループ等に179,900部を送付した。また、当会広報紙の送付助成を行った。掲載の理事名に誤りが見つかり、正誤表を送付した。

なお、各サポート協会に会員数による当会広報紙発送費用助成として
2,253,234円拠出した。

(2) 広告掲載

ア 集会（JICと折半）

- ① 日本知的障害者福祉協会
「全国知的障害福祉関係職員研究大会」
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会
2025年度は諸事情により広告出稿は行わなかった。
- ③ 施設知的障害者施設家族会連合会
「全施連全国大会」

イ 冊子（JIC と折半）

- ① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」（年間）
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」（年間）

ウ 週刊福祉新聞 暑中見舞名刺広告・年賀名刺広告

（3）ホームページ

2023年度後半より当会ホームページの検索エンジン広告費を拠出していたが、2025年1月に「生活サポート総合補償制度」に関する google 検索広告をAIGも行っていることがわかり、内容が重複してしまうことから、2025年4月からはYahooに広告拠出を行うこととした。しかし、YahooにもAIGが広告費を拠出することになり、当会で他の検索エンジンに広告費を出費しても費用対効果があまり期待できないことや、SNSへの広告も検討したがノウハウがないことから、2025年9月をもって、当会でのWEB広告拠出は中止した。

5 「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策

（三者プロジェクト— 拡大三役会・三者会議 —の実施）

2025年度より「生活サポート総合補償制度」の改定が行われ、Dプラン、Eプランが新たに追加された。AプランからCプランは掛金が改定になったため、継続率が下がるのではないかと懸念されたが、例年通りの継続率となった上に、大幅な会員の増加となった。

（1）拡大三役会

2023年度まで拡大MVP委員会として実施していたが、2024年度より拡大三役会として協議を行った。協議内容は「生活サポート総合補償制度」の利用率等についてである。

（2）三者会議

6月から9月にかけて各サポート協会、担当のAIG、JICの三者で行った。会場、オンライン、ハイブリットと様々な方法で開催していた。

6 アールブリュット展

27サポート協会に1,081作品の応募があり、その中から130作品が当会のアールブリュット展に出品され、当会ホームページに掲載した。応募総数は毎年増えており、2025年度は初めて1,000点を超えた。

2024年度までは総会出席者の投票で入賞作品を決定していたが、2025年度はオンラインによる生活サポート協会関係者の投票に変更した。入賞者には当会から賞状とともに、AIG及びJICより副賞が授与された。

なお、2025年度は3位が同票だったため、入賞者は4名となった。

7 事業助成

2025年度から「主催事業助成金規程」を作成し、規程に基づいて助成金を拠出した。2025年度は25サポート協会に2,242,666円拠出した。

8 弁護士への委託

2025年度より各ブロックの委託をやめ、大石弁護士1人をお願いすることになり、地方案件については大石弁護士から紹介していただく方法に変更した。

9 小規模サポート協会への助成

9月末時点で会員数1,000人未満のサポート協会に助成を行った。3サポート協会に合計260,200円を助成した。

地区交流会の補助や支部のサポート料金として利用していると報告があった。

10 「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」への参加

情報収集の1つとして参加し、事務局長が会議に出席した。会議はほぼ毎回オンラインで行われた。

11 新「会員管理システム」システム検討

2024年度は「会員管理システム」を利用している27のサポート協会と新「会員管理システム」構築について協議を重ね、いったんは現行システムとほぼ同等のシステム構築が検討されていた。

しかし、2025年度に入り、すべてのサポート協会が利用することを前提に、会員管理と将来を見据えたオンラインでの加入等を含めたシステム構築を検討することとなり、ブロック会議や三役会、理事会等で協議を行った。

12 カレンダー作製（試行事業）

当会アールブリュット展に応募された作品を掲載した2026年カレンダーを5,615部作成し、箱をつけて、各サポート協会、作者、関係者に配布した。

また、送付に際して、各サポート協会に最高額5万円の助成を行い1,188,512円拠出した。

2026年度からは、試行事業から本事業とする。

13 無料電話相談事業（試行事業）

弁護士相談3件、税金相談を4件受け、担当の先生方には迅速に対応していただいた。税金相談は相続、贈与に関する内容であった。

2026年度からは、試行事業から本事業とする。

14 YouTube を利用したセミナーの配信（試行事業）

2024年度に引き続き、2023年度 ZOOM で実施した「病気予防&事故防止」セミナーを編集し、YouTube を利用し、限定公開で配信とした。また、希望者には無料で「病気予防&事故防止」冊子を送付した。

【会議実施等詳細】

1 2025年度定時社員総会

日 時：2025年6月5日（木）12:30～14:30

場 所：品川区総合区民会館 イベントホール

議案事項：○当会協会名変更 ○理事変更

○2024年度事業報告及び決算報告・監査報告 他

2 理事会

	日時	場所	内容
第1回	2025年4月23日(水) 13:00～16:00	産業貿易センター 第2会議室 オンライン (ZOOM)	・2024年度事業報告・決算報告(案) ・理事変更 他
第2回	2025年6月5日(木) 14:30～14:45	品川区総合区民会館 (きゅりあん) イベントホール	・代表理事(理事長)、 副理事長選定
第3回	2026年3月6日(金) 13:00～16:30	大田区産業プラザ 特別会議室 オンライン (ZOOM)	・2025年度事業の評価反省 ・2026年度事業計画 ・新「会員管理システム」案 他

3 ブロック会議

・第14回北海道ブロック会議

2025年10月9日(木) 14:00～16:30

北海道 道民活動センター かでる2.7

・第18回東北ブロック会議

2025年11月6日(木) 13:30～16:00

秋田県 花火伝統文化継承資料館

・第19回関東甲越ブロック会議

2025年11月21日(金) 13:30～16:30

山梨県 こなやホテル

・第18回中部ブロック会議

2025年10月30日(木) 13:30～16:30

福井県 福井県国際交流会館

・第3回近畿ブロック会議

2025年12月9日(火) 13:30～16:30

和歌山県 白浜ホテルシーモア

・第3回中国・四国ブロック会議

2025年10月16日(木) 14:00～16:30

岡山県 アークホテル岡山

・第18回九州ブロック会議

2025年11月13日(木) 14:00~17:00

沖縄県(ゆいまーる) オリオンホテル那覇

4 研修会

日時: 2025年6月5日(木) 14:45~16:45

場所: 品川区総合区民会館 イベントホール

内容: 「障害者の高齢化問題について」

社会健康医学研究センター

健康医学研究センター長・参事研究員 西田 淳志 氏

※限定公開にてYouTube 配信

2025年度収支計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

運営の部
収入

大 科 目	中 科 目	2025年度 予 算 額	2025年度 決 算 額	増 減	摘 要
運営費収入		34,296,800	34,583,400	△ 286,600	
	入 会 金	447,000	471,900	△ 24,900	
	入会費収入	450,000	471,900	△ 21,900	300 × 73人 = 21,900
	入会金返金	△ 3,000	0	△ 3,000	
	年 会 金	33,849,800	34,111,500	△ 261,700	
	年会費収入	33,879,800	34,145,100	△ 265,300	200 × 168.677人 = 33,735.400 100 × 4,097人 = 409,700 計 34,145,100
	年会費返金	△ 30,000	△ 33,600	3,600	200 × 167人 = 33,400 100 × 2人 = 200 計 33,600
雑 収 入	雑 収 入	1,000	8,233	△ 7,233	普通預金利息
	前期繰越金	7,978,598	7,978,598	0	2024年度繰越金
	収入合計	42,276,398	42,570,231	△ 293,833	

支出

大 科 目	中 科 目	2025年度 予 算 額	2025年度 決 算 額	増 減	摘 要
事業費		15,750,000	14,277,687	1,472,313	
	事業助成	2,500,000	2,242,666	257,334	サポート協会主催事業助成
	組織強化費	250,000	260,200	△ 10,200	小規模サポート協会への助成金
	啓発宣伝費	2,360,000	1,368,543	991,457	広告掲載、HP維持等
	研修費	100,000	100,000	0	研修会講師謝礼
	ブロック助成金	1,530,000	1,530,000	0	ブロック活動費助成金(7ブロック)
	当会事業費	3,860,000	3,751,172	108,828	イベント作成費・送料・箱代・発送助成金 相談事業
	広報紙発送助成	2,500,000	2,253,234	246,766	広報紙発送費用助成
	印刷製本費	2,000,000	2,147,325	△ 147,325	広報紙作成費用等
	支払手数料	650,000	624,547	25,453	印手数料、振込手数料、残高計算書発行手数料
管理費		19,357,400	18,865,095	492,305	
	人件費	5,645,000	5,577,900	67,100	職員2名分、事務局長社会保険手当 通勤手当
	法定福利費	600,000	603,869	△ 3,869	社会保険料等
	福利厚生費	170,000	153,340	16,660	役員職員傷害保険、購読料、健康診断等
	総会費	1,800,000	1,681,423	118,577	総会(交通費1名分、会場費)等
	会議費	2,800,000	2,300,770	499,230	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅費交通費	1,100,000	1,381,260	△ 281,260	ブロック会議等
	MVP委員会	100,000	0	100,000	委員会旅費等
	賃借料	3,336,400	3,367,870	△ 31,470	家賃 協会名変更による契約書変更等
	水道光熱費	150,000	139,650	10,350	水道、電気料
	通信運搬費	350,000	323,804	26,196	電話、切手、宅配便等
	リース料	454,000	453,684	316	事務機器など
	消耗品費	526,000	453,651	72,349	事務用品費、台所衛生用品、用紙代等
	会員管理費	406,000	488,730	△ 82,730	会員管理費、AIGF→送料
	顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租税公課	110,000	111,700	△ 1,700	法人税・法務局変更登記申請・手数料
	渉外費	100,000	154,444	△ 54,444	慶弔・贈答品、祝賀等
	什器備品	500,000	473,000	27,000	PCリプレース(固定資産へ)
	引当金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑費	10,000	0	10,000	雑費
予備費		1,000,000	300,000	700,000	
	義援金等	1,000,000	300,000	700,000	九州大雨義援金
	支出合計	36,107,400	33,442,782	2,664,618	
	次期繰越金	6,168,998	9,127,449	△ 2,958,451	2025年度繰越金
	合計	42,276,398	42,570,231	△ 293,833	

保険料の部

大 科 目	中 科 目	予 算 額	2025年度 決 算 額	予 算 額 増 減	摘 要
収入	預り保険料収入		3,985,615,650		
	保険料	4,029,489,760	3,985,299,230	44,190,530	
	返戻金		316,420		
支出	預り保険料出		3,985,615,650		
	保険料	4,029,489,760	3,985,299,230	44,190,530	
	返戻金		316,420		
	差額			0	

※保険料の部 摘要詳細

保険料	<p>合計金額内訳 決算書保険料合計(172,753人分)</p> <p>3,984,799,980円(172,730人分)「2025年4月から2026年1月入金までの2025年度保険料」 + 499,250円(27人分)「2026年3月入金(2026年度保険料)」</p> <p>参考:「2025年度保険料合計」(172,774人分)</p> <p>3,984,799,980円(172,730人分)「2025年4月から2026年1月入金までの2025年度保険料」 + 877,550円(44人分)「2025年3月入金(2025年度保険料)」 =3,985,677,530円</p>
返戻金	内訳 (2025年度返礼金一覧 参照)

貸借対照表

2025年度収支計算書

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,093,616	8,040,657	1,052,959
前払費用	275,720	38,840	236,880
流動資産合計	9,369,336	8,079,497	1,289,839
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職金積み立て	1,471,164	1,350,055	121,109
定期預金	28,502,708	28,436,486	66,222
特定資産合計	29,973,872	29,786,541	187,331
(3) その他固定資産			
什器備品	354,750	3	354,747
保証金	1,260,000	1,260,000	0
その他固定資産合計	1,614,750	1,260,003	354,747
固定資産合計	31,588,622	31,046,544	542,078
資産合計	40,957,958	39,126,041	1,831,917
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	100,000	0	100,000
前受年会費	5,400	8,800	△ 3,400
預り金	136,487	92,099	44,388
流動負債合計	241,887	100,899	140,988
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,470,042	1,350,042	120,000
固定負債合計	1,470,042	1,350,042	120,000
負債合計	1,711,929	1,450,941	260,988
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(29,432,708)	(29,306,486)	(126,222)
正味財産合計	39,246,029	37,675,100	1,570,929
負債及び正味財産合計	40,957,958	39,126,041	1,831,917

正味財産増減計算書

2025年度収支計算書

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	34,583,400	31,430,600	3,159,500
入会金収入	471,900	0	471,900
入会金返金	0	0	0
年会費収入	34,145,100	31,457,500	2,687,600
年会費返金	△ 33,600	△ 26,900	△ 6,700
雑収入	75,564	2,586	72,978
受取利息	75,564	2,586	72,978
雑収入	0	0	0
経常収益計	34,658,964	31,433,186	3,232,478
(2) 経常費用			
事業費	14,277,687	14,793,051	△ 515,364
事業助成	2,242,666	2,300,000	△ 57,334
組織強化費	260,200	247,300	12,900
啓発宣伝費	1,368,543	2,029,319	△ 660,776
研修費	100,000	100,000	0
ブロック助成金	1,530,000	1,835,442	△ 305,442
当会事業費	3,751,172	3,576,962	174,210
広報紙送付助成金	2,253,234	2,383,540	△ 130,306
広報紙印刷製本費	2,147,325	1,682,119	465,206
支払手数料	624,547	638,369	△ 13,822
管理費	18,392,095	18,802,322	△ 410,227
人件費	5,577,900	5,617,300	△ 39,400
法定福利費	603,869	581,959	21,910
福利厚生費	153,340	164,030	△ 10,690
総会費	1,681,423	1,708,480	△ 27,057
会議費	2,300,770	2,497,018	△ 196,248
旅費交通費	1,381,260	1,057,532	323,728
MVP委員会	0	75,000	△ 75,000
賃貸料	3,367,870	3,595,120	△ 227,250
水道光熱費	139,650	142,652	△ 3,002
通信運搬費	323,804	336,619	△ 12,815
環境管理費	0	17,000	△ 17,000
リース料	453,684	453,684	0
消耗品費	453,651	502,958	△ 49,307
会員管理費	488,730	434,650	54,080
顧問・指導料	1,080,000	1,080,000	0
租税公課	111,700	81,500	30,200
渉外費	154,444	336,820	△ 182,376
引当金	120,000	120,000	0
雑費	0	0	0
予備費	300,000	0	300,000
義援金	300,000	0	300,000
減価償却費	118,252	13,121	105,131
経常費用計	33,088,034	33,608,494	△ 520,460
評価損益等調整前当期経常増減額	1,570,930	△ 2,175,308	3,746,238
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,570,930	△ 2,175,308	3,746,238
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	1,570,929	△ 2,175,308	3,746,237
一般正味財産期首残高	37,675,100	39,850,408	△ 2,175,308
一般正味財産期末残高	39,246,029	37,675,100	1,570,929
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	39,246,029	37,675,100	1,570,929

財産目録

2025年度収支計算書

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	金	額	
(流動資産)	預金	当座預金		9,093,616	
		ゆうちょ銀行 00140-9-374339	848,454	848,454	
		普通預金		8,245,162	
		三菱UFJ銀行 神田支店 0148931	6,107,664		
		三菱UFJ銀行 神田支店 0148944	1,686,861		
		ゆうちょ銀行 11330-15450581	450,637		
	前払費用			275,720	
流動資産合計				9,369,336	
(固定資産)	特定資産	退職金積み立て 退職給付引当資産(一般)		1,471,164	
		退職給付引当資産 (定期預金)	東法連特定退職金共済会 三菱UFJ銀行 神田支店0089584	930,000 541,164	
		定期預金	三菱UFJ銀行 神田支店0100740 三菱UFJ銀行 神田支店0057779 三菱UFJ銀行 神田支店0100753	7,193,047 16,296,825 5,012,836	
	その他固定資産	什器備品	PCA公益法人会計・FAX ｽﾌﾟｰﾙﾈｯﾄ・PC2台		354,750
		保証金	事務所賃貸保証金		1,260,000
		固定資産合計			
資産合計				40,957,958	
(流動負債)	未払金 前受年会費	事業助成		100,000	
				5,400	
	健康保険料 厚生年金保険料 源泉所得税 住民税	事務職員	23,935		
		事務職員 事務職員 事務局長・事務職員	16,374 19,778 76,400		
流動負債合計				241,887	
(固定負債)	退職給付引当金	事務局長・事務職員		1,470,042	
固定負債合計				1,470,042	
負債合計				1,711,929	
正味財産				39,246,029	

一般社団法人 全国生活サポート協会

2026年度事業計画

【基本方針】

1 理念

Mission (ミッション・使命) =知的障害児者生活サポート

Vision (ヴィジョン・将来像) =全国(組織)

Passion (パッション・熱情) =協会(熱い情の協働体)

- 2 組織では、全国サポート協会と各サポート協会間の一層の連携
- 3 事業では、当会定款第2条(目的・事業)を実施・継続
- 4 AIG損害保険株式会社並びにジェイアイシーグループと協議を継続

【活動内容】

1 組織の運営

当会の組織、事業及び財政など会務の適正な運営を図るため、定時社員総会・理事会また必要に応じて三役会等を開催する。

総会においては会場開催とし、2026年度は20周年記念事業も併せて実施する。

他の会議の開催方法については、会場開催のみでなく、オンラインやハイブリット開催も検討する。

- (1) 定時社員総会 1回
- (2) 理事会 2回

2 事業の実施

当会は、定款第2条の知的障害児者・発達障害児者(以下「障害者」という)とその家族の生活安定と福祉の推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- ① 障害者とその家族の生活安定のための各種の事業
- ② 障害者の各種制度に関する調査研究並びに意見具申
- ③ 社員の役職員の研鑽等、社員の健全な発展に資する各種の事業
- ④ 社員の発展に必要な援助及び指導
- ⑤ その他、当会の目的を達成するために必要な事業

(1) ブロック活動の促進に協力

全国の7ブロックで、ブロック毎に会議を開催し、報告・協議等を行う。

なお、理事会や総会と同様に開催方法については、会場開催、ハイブリット開催、オンライン開催等も検討する。

ア ブロック活動の推進に協力し、必要な情報を提供する。

イ ブロック活動に対し、助成金を助成する。

ウ 事務局職員の研修等を必要に応じ、具体的目的があればブロック毎に開催し、必要な情報を提供する。

エ 全国サポート協会ホームページの「サポート協会及びブロック会議の活動」にて各ブロックの会議報告を行う。

(2) 啓発事業の実施

ア 広報紙「サポ協だより シンビオシス～共生～」の発行、配布：年1回
総会やアールブリュット展入賞作品や、会員へ有用な情報を発信する。
また、各サポート協会には、当会広報紙発送費用助成を行う。

イ ホームページ

サポート協会の事業を一般に広く公開する。また、社員に必要な情報を即時発信する。

ウ 広告掲載

(ア) 集会（費用はジェイアイシーと折半）

① 日本知的障害者福祉協会

「全国知的障害福祉関係職員研究大会」

② 全国手をつなぐ育成会連合会

「全国大会」

「事業所協議会全国研修大会」※全国手をつなぐ事業所協議会

③ 全国児童発達支援協議会

「職員研修会」

(イ) 冊子（費用はジェイアイシーと折半）

① 日本知的障害者福祉協会「さぽーと」

② 全国手をつなぐ育成会連合会「手をつなぐ」

(ウ) 週刊福祉新聞「暑中見舞名刺広告」「年賀名刺広告」

(エ) 上記以外に新規会員開拓に効果が見込める方法があれば検討する。

(3) 組織強化の実施

ア 三者プロジェクト（「生活サポート総合補償制度」の長期的安定に向けての施策）の実施

「生活サポート総合補償制度」の長期的安定の施策について三者（AIG 損保・JIC・全国サポート協会）で協議を行う。

(ア) 新規会員の増員

会員（加入者）の目標は、2026年度は175,000人とする。

検索エンジンへの広告やHP、事業実施での情宣等を活用し、若年層の新規会員（加入者）の開拓を推進する。そのための施策を協議、検討する。

(イ) 制度安定のための課題改善

制度安定に向けて、保険利用率の改善やその他の課題について、三者で検証し、協議を行う。

(ウ) サポート協会（社員）加盟の促進

2024年度の広島県の加盟により、未加盟は残り1県（島根）のみとな

った。今後もサポート協会（社員）設立の働きかけを全国サポート協会、近隣のサポート協会及び担当のジェイアイシーグループと連携して行う。

- (4) 「会員管理システム」活用の推進及びジェイアイシーグループとの連携により適正な会員（加入者）の情報管理に努める。

現行の「会員管理システム」は、2029年2月末をもって使用できなくなるため、2027年度の運用開始を目指して、2026年度中に「新会員管理システム」の構築作業に着手する。

3 20周年記念行事

2026年度は当会発足から20周年となるため、総会時に記念式典を開催し、2026年度中に記念誌を発行し関係者に配布する。

4 小規模サポート協会への支援

小規模サポート協会（会員（加入者）数1,000人以下）へ基盤強化・拡大を図るため、支援する。

- ・ 支援内容 年間 会員（加入者）1人100円
 - ・ 会員（加入者）数の基準日 毎年8月31日（現在）
- 尚、最高限度額を100,000円、最低保障額を50,000円
（1,000人を超えた年度で支援終了）

5 アールブリュット作品展

- (1) 会員、非会員にかかわらず作品を募集し、応募のあった全作品を当会ホームページに掲載する。また、入賞作品を広報紙（サポ協だより）及び2027年度分のパンフレットに掲載する。
- (2) 入賞しなかった応募作品についても、2027年カレンダーを作成し、多くの作品を掲載する。会員等への送付はサポート協会を通して行っていただくため、各サポート協会に送料として最高5万円まで助成する。（2025年度まで試行事業⇒2026年度本事業）

6 サポート協会事業実施への助成

各サポート協会が行っている主催事業及び共催事業に対して、10万円までの助成を行う。予算として270万円を計上する。

7 相談事業及び弁護士委託の実施（2025年度まで試行事業⇒2026年度本事業）

- (1) 会員向けに無料の電話による法律及び税務・年金相談を実施する。
- (2) 各サポート協会から当会に弁護士紹介依頼があった場合、大石顧問弁護士を通じて弁護士を紹介する。

8 「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」への参加

「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク」の構成団体として、障害者文化芸術活動を推進するための啓発活動、事業について情報を得る。

9 当会の中長期的活動の計画と推進

中長期的視点から当会のこれからの課題について検討する。

【2026年度会議予定表】

期日	会議名	場所
4月8日(水)	監査	全国生活サポート協会 事務所
	第1回三役会	
4月27日(月)	第1回理事会	品川区総合区民会館 中会議室
6月4日(木)	定時社員総会 20周年記念式典	品川区総合区民会館 イベントホール
7月8日(水)	(拡大)第2回三役会	ちよだプラットフォームスクエア 504 会議室
9月頃	第3回三役会	全国生活サポート協会 事務所
10月15日(木)	北海道ブロック会議	北海道(札幌市)
10月22日(木)	中部ブロック会議	愛知県
11月6日(金)	九州ブロック会議	鹿児島県(さくらじま)
11月11日(水)	東北ブロック会議	青森県
11月13日(金)	関東甲越ブロック会議	新潟県(ハンズ)
11月19日(木)	近畿ブロック会議	奈良県(なら)
12月2日(水)	中四国ブロック会議	香川県
12月	第4回三役会	全国生活サポート協会 事務所予定
2027年		
2月初旬	第5回三役会	全国生活サポート協会 事務所予定
3月初旬	第2回理事会	大田区産業プラザ 予定

一般社団法人 全国生活サポート協会
2026年度収支予算 ー運営の部ー
 2026年4月1日から2027年3月31日まで

収入

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	2025 年 度 予 算 額	2026 年 度 予 算 額	2025 年 度 予 算 ・ 2026 年 度 予 算 増 減	摘 要
運営費収入		34,296,800	34,651,700	354,900	
	入 会 金 収 入	447,000	45,000	△ 402,000	
	入 会 金	450,000	45,000	△ 405,000	300円×150人= 45,000
	入 会 金 返 金	△ 3,000	0	3,000	
	年 会 費 収 入	33,849,800	34,606,700	756,900	
	年 会 費	33,879,800	34,646,700	766,900	200円×171,467人=34,293,400 100円× 3,533人= 353,300 計34,646,700円
	年 会 費 返 金	△ 30,000	△ 40,000	△ 10,000	
雑収入	雑 収 入	1,000	6,000	5,000	利息
定期預金	移転(引越)残繰入	0	7,176,335	7,176,335	
繰越金	前期繰越金	7,978,598	9,127,449	1,148,851	2025年度繰越金
収入合計		42,276,398	50,961,484	8,685,086	

支出

大 科 目	中 科 目	2025 年 度 予 算 額	2026 年 度 予 算 額	2025 年 度 予 算 ・ 2026 年 度 予 算 増 減	摘 要
事業費		15,750,000	15,960,000	210,000	
	事 業 助 成	2,500,000	2,700,000	200,000	サポート協会主催事業助成・新規広報紙作成助成
	組 織 強 化 費	250,000	280,000	30,000	小規模サポート協会への支援金
	啓 発 宣 伝 費	2,360,000	1,200,000	△ 1,160,000	広告掲載、HP維持等
	研 修 費	100,000	100,000	0	研修会講師謝礼
	ブ ロ ッ ク 助 成 金	1,530,000	1,530,000	0	ブロック活動費助成金(7ブロック)
	当 会 事 業 費	3,860,000	3,750,000	△ 110,000	カンパ作成費・送料・箱代・発送助成金 相談事業
	広 報 紙 発 送 助 成	2,500,000	2,500,000	0	広報紙発送費用助成
	印 刷 製 本 費	2,000,000	2,200,000	200,000	広報紙作成費用等
	20周年事業費 (定期預金充当)	0	1,100,000	1,100,000	20周年記念誌印刷費1000部等
	支 払 手 数 料	650,000	600,000	△ 50,000	振込手数料等
管理費		19,357,400	24,715,000	5,357,600	
	人 件 費	5,645,000	5,672,000	27,000	職員2名分、事務局長社会保険手当 通勤手当
	法 定 福 利 費	600,000	600,000	0	社会保険料等
	福 利 厚 生 費	170,000	170,000	0	役員職員傷害保険、購読料、健康診断等
	総 会 費	1,800,000	2,500,000	700,000	総会(交通費1名分、会場費)等
	会 議 費	2,800,000	2,500,000	△ 300,000	理事会、三役会、委員会(会場、交通費)等
	旅 費 交 通 費	1,100,000	1,400,000	300,000	ブロック会議等
	M V P 委 員 会	100,000	100,000	0	委員会旅費等
	賃 借 料	3,336,400	3,586,000	249,600	家賃、更新料 他
	水 道 光 熱 費	150,000	150,000	0	水道、電気料
	通 信 運 搬 費	350,000	350,000	0	電話、切手、宅配便等
	環 境 管 理 費	0	17,000	17,000	テナント保険料(2年更新)
	リ ー ス 料	454,000	454,000	0	事務機器リース代金
	消 耗 品 費	526,000	400,000	△ 126,000	複合機使用料、ZOOM更新費、事務用品費
	会 員 管 理 費	406,000	406,000	0	会員管理費、AIGF→送料
	顧 問 ・ 指 導 料	1,080,000	1,080,000	0	顧問3名分
	租 税 公 課	110,000	100,000	△ 10,000	法人税、法務局変更登記申請手数料
	渉 外 費	100,000	100,000	0	慶弔・贈答品等
	什 器 備 品	500,000	0	△ 500,000	
	シ ス テ ム 開 発 費 (定期預金充当)	0	5,000,000	5,000,000	新会員管理システム開発費(JIC折半)
	引 当 金	120,000	120,000	0	退職引当金
	雑 費	10,000	10,000	0	雑費
予備費	繰越金より支出	1,000,000	1,000,000	0	
支出合計		36,107,400	41,675,000	5,567,600	
次期繰越金(収支差額)		6,168,998	9,286,484	3,117,486	
合 計		42,276,398	50,961,484	8,685,086	

一般社団法人 全国生活サポート協会
2026年度収支予算 ー保険料の部ー
 2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位：円)

	大 科 目	2025年度予算額	2026年度予算額	増 減	摘 要
					2026年度会員目標 175,000 人 会員数は前年度月別比で算定し、保険料に乗算
					プランA
					4月 21,770 円 × 75,351 人 = 1,640,391,270
					5月 19,430 円 × 182 人 = 3,536,260
					6月 17,690 円 × 305 人 = 5,395,450
					7月 15,910 円 × 271 人 = 4,311,610
					8月 14,130 円 × 182 人 = 2,571,660
					9月 12,380 円 × 198 人 = 2,451,240
					10月 10,620 円 × 248 人 = 2,633,760
					11月 8,840 円 × 196 人 = 1,732,640
					12月 7,070 円 × 394 人 = 2,785,580
					1月 5,310 円 × 151 人 = 801,810
					2月 3,540 円 × 58 人 = 205,320
					合計 77,536 人 1,666,816,600
					プランB
					4月 27,670 円 × 63,182 人 = 1,748,245,940
					5月 24,700 円 × 146 人 = 3,606,200
					6月 22,470 円 × 226 人 = 4,569,720
					7月 20,220 円 × 204 人 = 3,661,800
					8月 17,950 円 × 138 人 = 2,167,980
					9月 15,710 円 × 149 人 = 2,010,010
					10月 13,490 円 × 143 人 = 1,605,890
					11月 11,230 円 × 137 人 = 1,231,630
					12月 8,990 円 × 90 人 = 607,500
					1月 6,750 円 × 121 人 = 543,290
					2月 4,490 円 × 67 人 = 300,830
					合計 64,603 人 1,768,550,790
					プランC
					4月 24,460 円 × 18,549 人 = 453,708,540
					5月 22,010 円 × 108 人 = 2,377,080
					6月 22,030 円 × 247 人 = 4,450,940
					7月 18,020 円 × 83 人 = 1,328,830
					8月 16,010 円 × 68 人 = 952,680
					9月 14,010 円 × 60 人 = 721,200
					10月 12,020 円 × 75 人 = 750,750
					11月 10,010 円 × 38 人 = 304,380
					12月 8,010 円 × 47 人 = 282,470
					1月 6,010 円 × 57 人 = 228,000
					2月 4,000 円 × 16 人 = 64,000
					合計 19,348 人 465,168,870
					プランD
					4月 17,110 円 × 2,689 人 = 46,008,790
					5月 15,390 円 × 117 人 = 1,800,630
					6月 14,020 円 × 173 人 = 2,179,800
					7月 12,600 円 × 87 人 = 973,530
					8月 11,190 円 × 49 人 = 480,690
					9月 9,810 円 × 41 人 = 345,220
					10月 8,420 円 × 41 人 = 286,590
					11月 6,990 円 × 26 人 = 145,600
					12月 5,600 円 × 34 人 = 142,800
					1月 4,200 円 × 21 人 = 59,010
					2月 2,810 円 × 4 人 = 11,240
					合計 3,282 人 52,433,900
					プランE
					4月 10,730 円 × 4,620 人 = 49,572,600
					5月 9,830 円 × 754 人 = 7,411,820
					6月 8,950 円 × 1,249 人 = 10,054,450
					7月 8,050 円 × 993 人 = 7,099,950
					8月 7,150 円 × 488 人 = 3,279,360
					9月 6,720 円 × 558 人 = 2,996,460
					10月 5,370 円 × 558 人 = 2,494,260
					11月 4,470 円 × 348 人 = 1,245,840
					12月 3,580 円 × 482 人 = 1,296,580
					1月 2,690 円 × 179 人 = 318,620
					2月 1,780 円 × 2 人 = 3,560
					合計 10,231 人 85,773,500
収 入	保 険 料	4,029,489,760	4,038,743,660	9,253,900	
支 出	保 険 料	4,029,489,760	4,038,743,660	9,253,900	同 上